

疾病論3：呼吸器疾患・呼吸機能の障害 試験問題 (工田先生)

設問. 記述が正しいものには(O)、誤っているものには(X)を下さい。

- ✕ ① 8週間以上持続する咳を慢性咳嗽といい、原因としては感染症であることが多い。
- ② 喀血と吐血の違いとして、喀血は鮮紅色、吐血は暗赤色など色の違いが参考となる。
- ③ パルスオキシメーターで測る動脈血酸素飽和度 (SpO₂) が 90%のとき、血液ガス分析検査で測る動脈血酸素分圧 (PaO₂) はおよそ 60Torrである。
- ✕ ④ 室内気吸入時の動脈血二酸化炭素分圧 (PaCO₂) の正常値は約60 Torrである。
- ⑤ 肺活量低下は拘束性障害でみられ、1秒率の低下は閉塞性換気障害でみられる。
- ⑥ 気管支鏡では気管・気管支内の観察、痰の採取や肺組織の採取が可能である。
- ⑦ 市中肺炎の原因菌として最も頻度が高いのは肺炎球菌であり、高齢者ではそのワクチン接種が推奨されている。
- ⑧ 非定型肺炎であるマイコプラズマ肺炎はヒトからヒトに飛沫感染し、βラクタム系抗菌薬が無効である。
- ⑨ レジオネラ肺炎は温泉施設での感染が問題となる疾患で、重症化しやすい肺炎である。
- ⑩ ニューモシスチス肺炎は代表的な日和見感染症で、免疫力低下が発症リスクである。
- ✕ ⑪ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の主な感染経路は空気感染である。
- ⑫ 肺結核はヒトからヒトに空気感染する感染症で、感染対策として医療者はN95マスクを着用する。
- ⑬ 気管支喘息の長期管理治療薬として吸入ステロイド薬が重要である。
- ⑭ COPDの主な原因は喫煙であり、禁煙することが治療においても大事である。
- ⑮ COPDの治療薬として長時間作用性抗コリン薬が重要である。
- ⑯ 気管支拡張症では気道感染、喀血を起こしやすい。
- ⑰ 特発性肺線維症 (IPF) は原因不明の慢性経過の間質性肺炎であり、胸部CT所見としては蜂巣肺が特徴的である。
- ✕ ⑱ 特発性肺線維症の聴診所見として捻髪音がある。
- ⑲ じん肺のひとつである石綿肺では肺癌、悪性中皮腫の発生頻度が高い。
- ⑳ 肺癌は脳、骨、肝、副腎に転移しやすく、転移の評価には造影頭部MRI検査、PET検査が有用である。

- ⑲ 肺癌の転移を認める臓器として脳、骨などがあげられる。○
- ⑳ 肺癌の局所治療として手術療法、放射線治療があり、全身治療として化学療法、分子標的薬治療、免疫療法がある。○
- ㉑ 非小細胞肺癌において、パフォーマンスステータス(PS) 4の症例は、化学療法の良い適応となる。×
- ㉒ 小細胞肺癌は化学療法、放射線療法に対する効果が高いが、再発率が高く、予後は不良である。○
- ㉓ 悪性中皮腫は胸水貯留や胸膜肥厚がみられ、化学療法の効果が低い予後不良の疾患である。○
- ㉔ 漏出性胸水は蛋白やLDHが高値となる。×
- ㉕ 肺血栓塞栓症の原因として下肢の深部静脈血栓症は重要である。○
- ㉖ 右心不全では頸静脈怒張、下腿浮腫などの所見が認められる。○
- ㉗ II型呼吸不全ではCO₂ナルコーシスの危険性が高いので十分な酸素吸入が望ましい。×
- ㉘ 閉塞型睡眠時無呼吸症候群の診断にポリソムノグラフィー検査が行われ、治療としてはHOTが有用である。×

疾病論 3 呼吸器疾患・呼吸機能障害

学生番号

氏名

58

設問

①	②	③	④	⑤
×	○	○	×	○
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○	○	○	○	○

⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
×	○	○	○	○
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
○	○	×	○	○

㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
○	○	×	○	○
㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
×	○	○	×	×